

平成 26 年度多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策（概要版）
【多文化共生社会の形成の推進に関する条例第 21 条に基づく報告】

1 平成 26 年度多文化共生施策の概要

(1) 「意識の壁」の解消

① 多文化共生シンポジウム開催事業（事業費：222 千円）

気仙沼市と共催で、定住外国人の社会参画について、就労支援をテーマとした「多文化共生シンポジウム in 気仙沼」を開催し、地域で暮らす在留外国人の社会参画について基調講演やパネルディスカッションを行い、理解促進を図った。約 90 人が参加した。

② 啓発ツール作成事業（事業費：189 千円）

第 2 期計画のリーフレットや啓発用パネルの作成を行い、多文化共生社会に関して県民への普及啓発を行った。

③ 多文化共生社会推進審議会運営事業（事業費：95 千円）

宮城県多文化共生社会推進審議会を開催（1 回）し、前年度に講じた施策等について、また、平成 26 年度多文化共生推進事業について審議した。

④ 多文化共生市町村等研修会（事業費：15 千円）

市町村職員及び国際交流協会職員を対象に、「第 2 期宮城県多文化共生社会推進計画の策定について」を題材に研修会を開催した。23 人が参加した。

⑤ 多文化共生社会推進連絡会議運営事業（事業費：3 千円）

行政機関、地域国際化協会や国際交流団体等による連絡会議を開催し、「行政機関における多文化共生の取組推進」について意見交換を実施した。19 人が参加した。

(2) 「言葉の壁」の解消

① 災害時通訳ボランティア整備事業（事業費：161 千円）

（公財）宮城県国際化協会へ委託し、県内で大規模災害が発生した際に、被災地からの要請に応じ通訳ボランティアを派遣できる体制の整備を行った。ボランティアを 133 人確保し、21 か国語での対応が可能となった。

② 外国人向け緊急用携帯マニュアル「ヘルプカード」作成事業（事業費：281 千円）

日本語の理解が不十分な外国人県民に対して、病気や災害等の緊急時に、周囲の日本人に意思表示や質問を行うことが可能となる携帯用カード「ヘルプカード」を 4,000 部増刷した。5 言語（日・英・中・韓・タ）に対応する内容で、必要とする関係機関に配布した。

(3) 「生活の壁」の解消

① みやぎ外国人相談センター設置事業（事業費：1,905 千円）

（公財）宮城県国際化協会へ委託し、外国人県民やその家族から寄せられた困りごと等の相談に対し、必要な情報提供や専門窓口の紹介など問題解決に向けたアドバイスをを行った。290 件の相談に 6 言語（日・英・中・韓・ポ・タ）で対応した。

② 多文化共生研修会の開催（事業費：3千円）

市町村、国際交流協会等職員を対象とした研修会を開催し、「外国人の法律問題に関する仙台弁護士会の活動」等について学習した。33人が参加した。

2 宮城県多文化共生社会推進計画の評価指標における進捗状況

○評価指標1 多文化共生啓発事業の実施市町村数

実績値 H25：4市町村 ⇒ H26：4市町村
(計画値 H25：2市町村 ⇒ H30：35市町村)

前年度（H25）より2市町村増加した。

○評価指標2 多文化共生に関する説明会等への参加県民数

実績値 H25：0人 ⇒ H26：0人
(計画値 H25：0人 ⇒ H30：750人)

前年度（H25）から変更なし。

○評価指標3 多言語による生活情報の提供実施市町村数

実績値 H25：11市町村 ⇒ H26：12市町村
(計画値 H25：9市町村 ⇒ H30：16市町村)

実施市町村：仙台市、石巻市、名取市、角田市、多賀城市、登米市、栗原市、大崎市、柴田町、亶理町、松島町、美里町

【H26より】増：角田市、多賀城市 減：山元町

○評価指標4 日本語講座開設数

実績値 H25：27講座 ⇒ H26：27講座
(計画値 H25：28講座 ⇒ H30：32講座)

実施市町村：仙台市（12講座）、石巻市（2講座）、気仙沼市、名取市、角田市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、川崎町、亶理町、松島町、利府町、美里町、南三陸町

○評価指標5 外国人相談対応体制を整備している市町村数

実績値 H25：6市町村 ⇒ H26：6市町村
(計画値 H25：5市町村 ⇒ H30：9市町村)

実施市町村：仙台市、石巻市、気仙沼市、角田市、登米市、川崎町

○評価指標6 技能実習生を除く外国人雇用者数

実績値 H25：3,212人 ⇒ H26：3,945人
(計画値 H25：3,212人 ⇒ H30：3,900人)

※ 上記の実績値は、計画値に合わせ、H25はH24の実績、H26はH25の実績を

用いることとしている。

H24からH25にかけて733人増加（対前年増加率22.8%）

（※H25からH26にかけて97人増加（対前年増加率2.5%）